

女性が輝く京都づくり事業【京都府】

地域の実情と課題

- 企業における女性の登用が進んでいない。
- 府内の圧倒的多数を占める中小企業においては、女性活躍推進のニーズがあり、取組の支援が必要。
- 長時間労働の削減、ワーク・ライフ・バランスの推進などを女性活躍推進と同時に進めることが重要。
- 起業家に占める女性割合が低く、アイデアを持つ女性の参画が促されていない。
- 仕事と子育て・介護の両立支援が必要。
- 理工系女子の裾野拡大を図る支援が必要。
- 男性の育児休業取得は極めて低調。
- 地域活動を行う女性への支援が必要。

事業の特徴

- 京都企業における女性活躍を効果的に推進するため、経済団体等と行政(京都府・京都市・京都労働局)の連携による「輝く女性応援京都会議」(女性活躍推進法に基づく協議会)を母体として、女性活躍推進に向けた人材育成研修、中小企業におけるワーク・ライフ・バランス推進、女性起業家の支援、中学生・高校生等への理系進路選択支援など、各団体と連携しながら多角的な取り組みを実施した。

事業の効果

【京都ウィメンズベースアカデミー事業】

新型コロナウイルス感染症の影響により、集客に苦慮したため、目標値を下回る結果となったが、参加者からはキャリアや将来について具体的に考える機会になった等の回答が多くあり、女性活躍を推進することができたと考える。

男性の育児休業の取得を促進するため、企業や社員の意識醸成を図るためのセミナーや企業の取組支援を行ったが、男女が共に育児に参画することの大切さや職場風土の醸成の重要性について理解が進んだと考える。

【女性活躍・WLB推進企業応援チームによる中小企業支援】

女性活躍・WLB推進マネージャーの積極的なアプローチや300人以下の企業への女性活躍推進法の義務化への対応もあり、目標値を達成したと考えられる。育児介護休業法の法改正についての研修等、企業のニーズに即した具体的な支援を実施する事が出来たと考える。

【女性の起業・経営支援事業】

53人の応募があり、目標値を達成することができた。旅行業やファッション関連事業、子育て関連事業など、多様な起業アイデアから、優れたアイデアを選考・ブラッシュアップすることができた。

【女性活躍応援塾事業】

目標値を大きく上回る結果となり、新たな人材の発掘や参加者の新たなネットワーク作り等、府内に地域活動を波及させていくことができたと考えられる。

目的・目標

■事業目標

- ・京都ウィメンズベースアカデミーによる研修・セミナー参加者数
目標:800人 → 実績:496人
- ・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画届出数(労働者300人以下の企業)
目標:169社 → 実績:203社(令和3年12月末現在)
- ・女性起業家賞応募者数
目標値:50人 → 実績:53人
- ・女性活躍応援塾参加者数
目標値:20人 → 実績:延べ191人

連携団体

連携団体名:輝く女性応援京都会議(22団体)

京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所、京都商工会議所女性会、京都府商工会議所連合会、京都府商工会議所女性会連合会、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都府中小企業女性中央会、(一社)京都経営者協会、(一社)京都経済同友会、(公社)京都工業会、京都府商工会女性部連合会、日本労働組合総連合会京都府連合会、国際ソロプチミスト京都、国際ゾンタ京都クラブ、(公財)大学コンソーシアム京都、日本政策金融公庫、(公財)21世紀職業財団関西事務所、京都府男女共同参画センター、京都市男女共同参画センター

今後の課題

女性活躍推進研修、中小企業を対象とした女性活躍推進支援、女性起業家支援、地域活動に取り組む女性の育成など、女性活躍推進に向けた多角的なアプローチを実施し、事業毎の成果を確認・検証しながら取り組みを進めているが、女性管理職割合や、起業家に占める女性割合等から、依然として女性活躍推進の必要性が感じられる。継続して取り組みを進めると共に、コロナや様々な要因により増加している困難・課題を抱える女性への相談体制や取組の強化等、多角的な女性活躍の推進を図る必要があると考える。

事業の概要

①京都ウィメンズベースアカデミー事業(2)

■京都STEAM女子応援事業

中学生、高校生やその保護者及び教員を対象に、理工系分野や理工系進学への理解を深めることを目的に、以下のとおり京都STEAM女子応援セミナーを実施した。

【開催日等】

令和3年11月21日(日) 13:00~16:00

【実施方法】

セミナー会場及びオンライン開催

【内容】

・基調講演

講演:「創造性の時代 STEAMがひらくワクワクドキドキの未来×女性」 登壇者:中島さち子氏

・グループワーク(ワールドカフェ形式の意見交換会)

参加企業:株式会社片岡製作所、日新電気株式会社、株式会社堀場製作所、株式会社ワコール、京都工芸繊維大学・京都府立大学

【参加者数】

51名



事業の概要

②女性活躍・WLB推進企業応援チームによる中小企業支援

社会保険労務士等有資格者による「女性活躍・WLB推進マネージャー」が中小企業(常時雇用する労働者300人以下)を訪問し、以下のとおり、女性活躍推進のための支援を行った。

■一般事業主行動計画策定支援

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定に関する勉強会・相談会等を実施し、事業主行動計画の策定や女性活躍推進の取り組みに係る相談・カウンセリングを行った。

■働きやすい職場環境づくり支援

一般事業主行動計画を策定した企業を対象に、計画に係る取り組みの実施や、働き方改革を支援するための支援を行った。

(例)役員、総務人事担当者を対象にした法改正研修(育児介護休業法改正等) 管理職を対象とした業務効率化研修

■「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証

ワーク・ライフ・バランスに関して優れた取り組みを行う企業を認証する、「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証の取得に係る支援を行い、企業における女性活躍とワーク・ライフ・バランスの推進に繋げた。



③女性の起業・経営支援事業

起業アイデアを持った女性の社会参画を促し、女性起業家の裾野を拡げるため、アイデアのブラッシュアップから顕彰・事業化までを一貫して支援した。

■第10回京都女性起業家賞の実施

募集期間: 令和3年6月1日~8月31日

応募件数: 53件

授賞式: 令和4年1月25日(火)

交流会: 令和4年2月10日(木)

■女性起業家のアイデアブラッシュアップ支援

女性起業家賞応募者を対象に、起業アイデアをビジネスモデルとして構築するための収支計算、将来設計等ならびに事業計画書の書き方や資料の作り方等について、個別面談による指導を実施した。



事業の概要

④女性活躍応援塾事業

POSTコロナ時代の新しい活動に取り組む女性を育成するため、資金獲得や人的ネットワークづくりのノウハウを学ぶ機会を提供するとともに、各々が取り組みたい活動を支援し、女性がリーダーとなり活動する地域での取組を推進するため、以下のとおり「女性活躍応援塾事業」を実施した。

(1)全体塾

地域塾参加者を対象に女性活躍プロデューサー(組織運営等の専門家)から、団体運営やネットワークづくりのノウハウ等を学ぶ講座を以下のとおり実施した。

開催日:8/31,10/23,12/10,2/19 参加者数:延べ75名参加

(2)地域塾

地域における女性の活躍の推進を図る個人又は団体より、地域の女性活躍に資する新規事業計画を公募。採用された事業者は、活動を広げるための新規女性参加者を新たに加え、事業を実現するために必要な知識やノウハウを習得しながら実際に活動を展開する地域塾を以下のとおり実施した。

①子育てママが社会復帰に必要な基礎スキル習得応援塾

開催日:11/17,1/27,2/18,3/11 新規女性参加者数:21名参加

②女性の起業家の会事業

開催日:10/9,11/13,12/11,1/22 新規女性参加者数:32名参加

③「生活文化をテーマとするオンラインストア」開設を目指す地域塾

開催日:8/26,9/29,11/6,12/11 新規女性参加者数:58名参加

④産前産後・子育て期における家事・料理代行訪問サービス

参加者数:8/2,8/10,12/23,3/23 新規女性参加者数:5名参加

(3)情報発信

全体塾、地域塾での活動を発信することで、活動のさらなる発展と女性活躍の気運醸成につなげることを目的に、以下のとおり、ラジオ・HPでの広報活動を行った。

①南部コミュニティFM放送局(京都三条ラジオカフェ)※令和3年4月～令和4年3月まで

放送日:毎月第2・4月曜日18時00分～18時21分

出演団体:24団体

②北部コミュニティFM放送局(FMいかる)※令和3年7月～令和4年3月まで

放送日:毎月第2月曜日17時40分～17時50分

第4金曜日13時05分～13時15分

出演団体:9団体

